

令和2年5月28日

保護者 様

鶴ヶ島市立杉下小学校
校長 久保 吉則

新型コロナウイルス感染拡大防止ための学校対応について

本校では、児童への新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を徹底しつつ、児童の学校生活を進めてまいります。以下、本校における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の取組についてお知らせします。鶴ヶ島市教育委員会等の指導のもと、児童が安全・安心な学校生活を送れるよう努めてまいります。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- ◎安全を最優先し、発熱等の風邪症状がある場合には原則出席停止とする
- ◎3密（密閉空間、密集場所、密接場面）が重なる場を徹底的に排除した環境づくりに努める
- ◎新型コロナウイルス関連によるいじめや差別的言動がないように指導・留意する

1. 登校前、登校時

- ・登校前に検温し、健康観察記録表への記録をお願いします。（毎日、持たせてください。）
- ・マスクの着用（マスク、ハンカチ、健康観察記録表を持ったかお声がけください。）
- ・登校したら教室に入る前に手洗いを行います。

2. 授業中 3密を避ける指導、石けんでの手洗いの励行を基本とします。

(1) 密集を防ぐ 教室ですできるだけ間隔を開けて机を配置します。

全校で集まる機会を作らないようにするため、当面、朝会や集会を中止します。

(2) 換 気 授業中、2方向の窓や扉をそれぞれ1ヶ所以上開けます。体育館でも換気を行います。休み時間には全ての窓を開け、教室の換気を行います。

(3) 手洗い 外から教室に入る時や特別教室での授業の前後には必ず手洗いをします。

※ハンカチの持参をお願いします。

(4) 咳エチケット 基本的にマスク着用とします。（予備用マスクも数枚持たせてください）

3. 給食指導時

- ・給食当番は手指をアルコール消毒します。
- ・給食当番以外の児童も手洗い、マスクの着用をし、自分の分は自分で配膳します。
- ・向かい合わずに前向きで、話をせずに食べます。

4. 児童下校後等

- ・児童がよく触れるドアノブ、スイッチ、手すり、トイレ、流し等を職員で消毒します。
- ・トイレ、流しは当面の間、職員が清掃します。

5. お願い

- ・毎日、お子様の健康状態の確認（検温等）を行っていただき、風邪等の症状が見られるときは、無理をせずに自宅で休養するようお願いいたします。また、ご家族に同様の症状がある場合や感染した方と密な接触があった場合にも、念のため自宅での休養をお願いします。

※上記の場合は、欠席とはせず、「出席停止」といたします。

※欠席の連絡は、当面、連絡カードや連絡帳を使わず、学校へ電話連絡にてお願いします。

- ・登校後、お子様が体調不良や熱がある場合には、ご家庭に連絡します。お迎えをお願いします。連絡が取れるようにしておいてください。

- ・医療機関において新型コロナウイルスに感染していると診断された場合、ご家族等が感染し、感染者の濃厚接触者となった場合には、速やかに学校に連絡をお願いします。

※今後の状況により、学校閉鎖や新たな臨時休業となる可能性もあります。ご承知おきください。

保護者の皆様へ

学校が始まると、子ども達も不安ながらも、日常の生活に戻ろうと勉強や遊びに一生懸命に取り組みはじめます。そこを学校と家庭で連携しながら支えていくことが大切です。

① 不安な気持ちは否定せずそのまま受けとめてあげましょう。

テレビやインターネットで様々な情報が流れてきます。気がつかないうちに不安感が強くなっている子もいます。

そうして溜まった不安感は、子どもによっては不眠や食欲不振などに繋がっているかもしれません。また、ちょっとしたことで興奮しやすくなっている子もいると思います。わざと気をひこうと怒られるようなことをする子もいるかもしれません。ゲームなどは内容をよく考え、刺激的な部分が少ないものにしてあげた方が良いと思います。また、ゆっくりとお話ができる時間を意識してお子さんの気持ちをそのまま受けとめてあげましょう。

② 元気に生活するために、まずは、朝日をしっかりと浴びましょう。

朝の光（太陽光・電灯）で脳を刺激し、食べることで、ゆっくり動いていた体から活動できる体に切り替えることができます。日中、意欲的に行動するためには、寝る時間を規則正しくすることが大切ですが、寝る前に何をしたかによっても睡眠の質が変わってきます。寝る前には、テレビやゲームから離れ、少し落ち着いた時間をとることがポイントです。

③ 帰宅後の時間の過ごし方をお子さんと考えてみましょう。

特に学校のリズムに慣れるまでは、学校が終わった後、少しのんびりとした時間を持ち、その後、宿題やお手伝い、そして自由に過ごせる時間が持てると良いと思います。一緒に、どのように時間を使っていくかを考えていくのも大切だと思います。

色々心配なことが多いと思いますが、まずは心の安定があって、はじめて落ち着いて学校の学習に向き合えるようになります。しばらくは、不安や緊張、体力の低下などから、精神的にも体力的にも疲れて帰宅することが多いと思います。いつも以上に子どもの顔を見てあげ、言葉をかけてあげることが大切になると思います。

子ども達は不安が高くなると、時には涙もろくなったり、攻撃的になったり等、今までには見せなかった姿を見せることもあります。そういう時には担任に話をし、カウンセラーや相談員に繋いでもらうことも大切です。

まずは、周りの大人が落ち着いて笑顔でいることが一番だと思いますが、いつも笑顔でいられないこともあるでしょう。そういうときは、無理をせずに飲み物とクッキーなどを用意し、気分転換を図ることも良いでしょう。

原則、毎週金曜日に相談員とともに勤務し、心のケアに努めております。

杉下小学校スクールカウンセラー 佐藤